

河川整備計画に関する意見聴取について

<目 次>

- ・意見聴取の方法について 1
- ・アンケートの実施方法について 2
- ・河川整備計画に関するアンケート（案） 4

意見聴取の方法

1. 基本的な考え方

【意見聴取の対象者】

- 1) 学識経験を有する者
- 2) 関係住民
- 3) 関係県知事及び関係市町長

【意見聴取の手順】

- それぞれの対象者から個々に実施
- 透明性・公平性の確保に留意

2. 意見聴取の方法

1) 学識経験を有する者からの意見聴取（河川法16条の2）

- 学識経験者から構成される「**小瀬川河川整備懇談会（仮称）**」を設置し、意見聴取
- 懇談会は公開とし、会議資料、議事録は後日、太田川河川事務所ホームページに掲載
- 懇談会会場は、小瀬川周辺の公共会議場等を活用

2) 関係住民からの意見聴取（河川法16条の2）

- 「**小瀬川のこれからを考える会（仮称）**」の開催、アンケートの実施等により**広く積極的に意見を聴取**
- 「小瀬川のこれからを考える会（仮称）」は、流域内（国管理区間）の広島県大竹市と山口県和木町の**2箇所で開催**
- アンケートは、事務所ホームページや新聞折込、小中学校等を通じた配布により実施

3) 関係県知事及び関係市町長からの意見聴取（河川法16条の2）

- 河川整備計画案に対する意見聴取**など適宜実施

アンケートの実施方法（その1）

1. 目的

小瀬川水系（国管理区間）の現状と課題及び河川整備に対する意見を幅広く住民から聴取

2. アンケート対象者

★次頁に詳述

国管理区間の小瀬川流域内および小瀬川想定氾濫区域内に在住の住民

3. 配布資料

小瀬川の概要を掲載したアンケート票（A3版）

4. アンケート内容

- 治 水：現状整備での洪水や高潮に対する不安度を把握、ハード整備、ソフト対策の必要性について問う
- 利 水：生活用水量の満足度を把握、渇水対策の方策について問う
- 河川環境：河川環境の満足度を把握、保全・整備方針について問う
- 河川利用：利用経験の有無、河川利用の課題を把握、必要と考えられる整備や改善策について問う
- 維持管理：河川清掃や除草等の満足度を把握、維持管理の方策について問う

5. 集約期間

平成22年9月中旬～平成22年10月末日

6. 配布方法

★次頁に詳述

- 1) 新聞への折り込み
- 2) 小中学校を通じた保護者への配布
- 3) 公共機関等に常設

アンケートの実施方法（その2）

7. 対象範囲



1) 新聞折り込み

- 新聞折り込みエリア：広島県（大竹市）
山口県（岩国市、和木町）
- 配布部数：約1万3千部

2) 小中学校を通じた配布

- 対象：小瀬川流域内に所在する小中学校の保護者
（小学校6校、中学校3校）
- 配布部数：約2千部

3) 公共機関等に常設

- 常設場所
 - ・大竹市：市役所、支所（2箇所）
 - ・岩国市：支所、出張所（2箇所）
 - ・和木町：役場（1箇所）
 - ・広島県：県庁、企業局（2箇所）
 - ・山口県：県庁、企業局（2箇所）
 - ・国土交通省：太田川河川事務所、小瀬川出張所
弥栄ダム管理所（3箇所）

おぜがわの昔と今...そして、これから

「河川整備計画」を作成するうえでは、昔はどうだったのか？ 今がどうなのか？ これから先どうすべきか？ について考えることが大切だと思います。みなさんも“小瀬川のこれから”について一緒に考えてみませんか？



昭和26年10月の洪水状況
(大竹市西栄)

▲ 昔は、こんな洪水被害もありました



平成3年 弥栄ダム完成

▲ 洪水を防ぐとともに、
人々の暮らしを支えています

昔

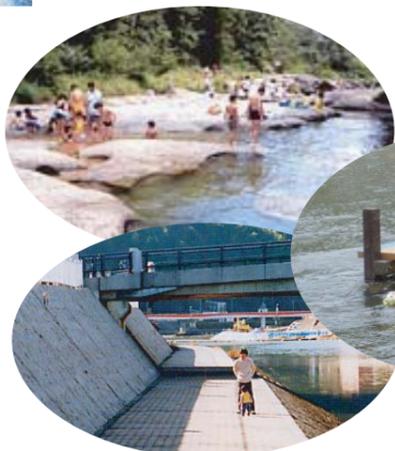
20～30年後の
“小瀬川”のあるべき
姿とは…。



▲ 地域の方々にもご協力
いただいています

今

← 弥栄ダムの上流では、今も自然の水遊び場
として利用されています



← 毎年春には、伝統
行事のひな流しが
続いています
(中津原水辺の楽校)

← 普段の水かさの時は、水辺を散策できます

小瀬川の河川整備について みなさんのご意見をお聞かせください！

アンケート募集

平成22年
10月31日
締切

広島県と山口県の県境を流れる小瀬川では、国管理区間を対象として、概ね20～30年間に行う具体的な河川整備や管理の計画を作成しています。この計画を「河川整備計画」といいます。

河川整備計画は、みなさまからお寄せいただくご意見を参考にしながら、作成を進めたいと考えています。本アンケートへのご協力をお願いいたします。



応募方法

- アンケートの応募は、添付のハガキをご利用ください。FAX送信も可能です。
- 太田川河川事務所ホームページからも応募できますので、右記の「小瀬川水系河川整備計画ホームページ」もご覧ください。
- 各ご家庭に配布させていただきますが、お手元に複数枚届く場合があります。1人1部のご回答も可能です。

※想定氾濫区域...計画で設定している雨が降った時に浸水が想定される最大の範囲()

太田川河川事務所ホームページ
トップ画面の河川整備計画をクリック！

◆なお、本アンケートの結果は、上記の目的以外には一切使用いたしません。
◆ご回答は、無記名として統計的な処理を行いますので、みなさまにご迷惑をおかけすることは一切ございません。

-あなたのことについて教えてください-

(お住まい以外は1つに○を左のハガキに記入)

- お住まい [市町名：] 地区名：]
- 性別 (1) 男性 (2) 女性
- 年齢 (1) 20才未満 (2) 20才代 (3) 30才代 (4) 40才代 (5) 50才代 (6) 60才代 (7) 70才以上
- ご職業 (1) 会社員 (2) 自営業 (3) 農業 (4) 漁業 (5) 公務員 (6) 主婦 (7) 学生 (8) 無職 (9) その他
- 現在の地域に何年間お住みですか？ (1) 1年未満 (2) 1～5年未満 (3) 5～10年未満 (4) 10～20年未満 (5) 20～30年未満 (6) 30年以上 (7) 住んだことがない

お問い合わせ先

国土交通省 中国地方整備局
太田川河川事務所 計画課
TEL (082) 222-9246 / FAX (082) 222-2432

※お問い合わせ等は、平日(月～金)の午前10時～午後5時までをお願いします。

郵便はがき

730-8790
908

【受取人】
広島市中区八丁堀3番20号
国土交通省 中国地方整備局
太田川河川事務所 計画課宛

バーコード

当てはまるものに○をおつけください。

- お住まい(市町名：) 地区名：)
- 性別 (1・2)
- 年齢 (1・2・3・4・5・6・7)
- ご職業 (1・2・3・4・5・6・7) 8・9：)
- 現在の地域の居住期間 (1・2・3・4・5・6・7)

裏面をご覧ください



小瀬川の現状イメージや今後の整備・管理についてお聞きします。

FAX(082)-222-2432
FAX送信の場合は、郵便はがき印刷面(おもて・うら)を送信ください。

Q1 「洪水・高潮対策」について、お聞かせください。

Q1-1. 現在の小瀬川は、洪水に対して不安を感じますか。(1つに〇)

1. 感じる 2. 感じない 3. わからない

Q1-2. 前の設問 Q1-1 で「1. 感じる」と回答された方にお聞きします。(複数回答可)

小瀬川で洪水が起こる場合にそなえて、今後どのような対策が必要だと思いますか。

1. 堤防を高くしたり、壊れないようにする
2. 川をひろげて、たくさんの水が流れるようにする
3. 川の土砂や大きな木などを取り除いて、たくさんの水が流れるようにする
4. 上流のダムで洪水をためて、川を流れる水の量を調節する
5. 日ごろから洪水にそなえて、みんなで訓練をする
6. 洪水の時に、早く、わかりやすい情報を住民が入手できるようにする
7. その他 (回答用紙に記入)



平成17年9月洪水では、水かさが増して、川岸が削られる被害が発生!

Q1-3. 現在の小瀬川は、高潮に対して不安を感じますか。(1つに〇)

1. 感じる 2. 感じない 3. わからない

Q1-4. 前の設問 Q1-3 で「1. 感じる」と回答された方にお聞きします。(複数回答可)

小瀬川で高潮が起こる場合にそなえて、今後どのような対策が必要だと思いますか。

1. 堤防を高くしたり、壊れないようにする
2. 日ごろから高潮にそなえて、みんなで訓練をする
3. 高潮の時に、早く、わかりやすい情報を住民が入手できるようにする
4. その他 (回答用紙に記入)

※高潮・・・台風や発達した低気圧により、海水面が吸い上げられ、異常に高くなる現象

Q2 「水の利用」について、お聞かせください。(1つに〇)

Q2-1. 小瀬川の水は、みなさんの生活のために利用されていますが、現在、水が足りないと感じますか。

1. 感じる 2. 感じない 3. わからない

Q2-2. 前の設問 Q2-1 で「1. 感じる」と回答された方にお聞きします。みなさんの生活が困らないように小瀬川の水量を保つためには、今後どうすることが望ましいと思いますか。

1. 日ごろから、みんなで節水をする 2. みんなで話し合っ、上手に水を使う
3. ダムで水をたくわえたり、流したり上手に調節する 4. その他 (回答用紙に記入)

Q3 「河川環境」について、お聞かせください。

Q3-1. 現在の小瀬川の河川環境に対して満足していますか。(1つに〇)

1. 満足している 2. どちらかといえば満足している
3. どちらかといえば不満である 4. 不満である 5. わからない

Q3-2. 前の設問 Q3-1 で「3. どちらかといえば不満である」または「4. 不満である」と回答された方にお聞きします。なぜ、不満だと感じますか。(複数回答可)

1. コンクリートが多く、自然な感じがしない 2. 魚や鳥などの生き物が少ない
3. 川の中に草地や樹林が多く、レキ河原が少ない 4. 河口に緑が少ない
5. 水がきたない 6. その他 (回答用紙に記入)

Q3-3. 洪水や高潮に対して安全性を確保するためには、現在の小瀬川の河川環境に手を加えても良いと思いますか。(1つに〇)

1. 安全性を向上させるためには、河川環境に手を加えることはやむをえない
2. 河川環境も大事だが、多少、手を加えることはやむをえない
3. 河川環境は大事なので、手を加えるべきではない
4. その他 (回答用紙に記入)



Q4 「川の利用場所」について、お聞かせください。

Q4-1. 小瀬川や弥栄ダム周辺には、みなさんの健康・学習・憩いのための場所として、遊歩道・水辺の楽校^{がっこう*}・レクリエーション施設等を設けていますが、普段利用していますか。(1つに〇)

1. 主に小瀬川を利用している ⇒ Q4-2、Q4-4 へ
2. 主に弥栄ダム周辺を利用している ⇒ Q4-2、Q4-4 へ
3. どちらも利用していない ⇒ Q4-3、Q4-4 へ

中津原水辺の楽校の利用状況



※水辺の楽校・・・国土交通省で平成8年度より行っている、水辺での活動を安全かつ充実したものとするための河川整備

Q4-2. 利用目的は何ですか。(複数回答可)

1. 川遊び 2. 魚釣り 3. 潮干狩り 4. レジャー (ピクニックやバーベキューなど)
5. スポーツ 6. 散歩 7. 自然観察 8. 通勤・通学 9. その他 (回答用紙に記入)

Q4-3. 利用していない理由は次のうちどれですか。(複数回答可)

1. 水が汚れている 2. ゴミが多い 3. 川まで遠い 4. 川に近づきにくい
5. 危ない 6. 行きたい施設がない 7. 興味が無い 8. その他 (回答用紙に記入)

Q4-4. 小瀬川や弥栄ダム周辺をもっと利用しやすくするためには、今後何が重要だと思いますか。(複数回答可)

1. 遊歩道 2. 公園 (遊具) 3. 駐車場 4. 水辺まで入れる通路 (階段)
5. 良好な水質 6. 水泳・水遊びのできる空間 (河原) 7. 歴史・文化^{てんしやう} 伝承の場
8. 自然を学習できる場 9. 多くの生物が生息できる環境 10. ゴミの減量・美化活動
11. 小瀬川・弥栄ダムのイベントや取り組みなどの情報提供 12. 今のままでよい
13. その他 (回答用紙に記入)

Q5 「河川清掃や除草などの維持管理」について、お聞かせください。(1つに〇)

Q5-1. 現在、小瀬川や弥栄ダム周辺には、ゴミや雑草の量が多いと思いますか。

1. 思う 2. 思わない 3. わからない

Q5-2. 前の設問 Q5-1 で「1. 思う」と回答された方にお聞きします。

ゴミや雑草の少ない小瀬川を目指すためには、今後どうすることが望ましいと思いますか。

1. 国 (河川管理者) が川のゴミ拾いや除草をする
2. 国 (河川管理者) と周辺住民が協力して、川のゴミ拾いや除草をする
3. 川にゴミを捨てないように、国 (河川管理者) から、より一層呼びかけを行う
4. その他 (回答用紙に記入)

Q6 その他、小瀬川の整備や管理に関するご意見・ご要望を自由にご記入ください。

回答らん 平成22年10月31日までにご投函ください。

- Q1
Q1-1: 1・2・3
Q1-2: 1・2・3・4・5・6・7 ()
Q1-3: 1・2・3
Q1-4: 1・2・3・4 ()
Q2
Q2-1: 1・2・3
Q2-2: 1・2・3・4 ()
Q3
Q3-1: 1・2・3・4・5
Q3-2: 1・2・3・4・5・6 ()
Q3-3: 1・2・3・4 ()
Q4
Q4-1: 1・2・3
Q4-2: 1・2・3・4・5・6・7・8・9 ()
Q4-3: 1・2・3・4・5・6・7・8 ()
Q4-4: 1・2・3・4・5・6・7・8・9・10・11
12・13 ()
Q5
Q5-1: 1・2・3
Q5-2: 1・2・3・4 ()
Q6: 自由意見

以上、ご協力ありがとうございました。